

Fungiscope -Global Emerging Fungal Infection Registry- (新興真菌感染症のグローバルレジストリ)

1、研究の目的と意義

背景：深在性真菌症（IFD）は世界的にその発生率が増加しており、中でも診断法や治療法が確立されているアスペルギルス症やクリプトコックス症とは別に新興真菌と呼ばれる希少な真菌の症例が注目されています。

目的：本研究の目的は希少な真菌による深在性真菌症の疫学や臨床経過、特性に関する知見を収集し、疫学的動向やリスク因子、臨床経過、推奨される治療法について明らかにすることです。

意義：現在の希少な真菌に関する深在性真菌症のガイドラインは症例報告や単一施設での研究、専門家の提言に基づいて作成されており、世界規模での多施設を交えた共同研究・調査を行うことでエビデンスに基づく医療の提供に役立てることができます。

2、対象となる患者さん

当院で培養学的、病理組織学的、抗原または遺伝子解析によって希少な真菌による感染症と診断された方が対象になります。

3、研究の方法

専用の調査ソフト（EFS Survey™）を使用して個人情報を匿名化・暗号化して個人が特定できない形でインターネット上での症例登録を行います。また、分離された菌株をケルン大学（ドイツ）へ提供し正式な菌種の同定や感受性試験を行います。

4、研究に用いる試料・情報

<利用する情報>

当院の電子カルテ上に存在する疫学的データ（国、施設、年齢、性別等）、真菌感染症データ（菌種等）、併存疾患や真菌感染症の危険因子、診断方法、治療方法、治療経過などの臨床情報を使用します。詳しい内容についてお知りになりたい方は『8.お問い合わせ先』へご連絡下さい。

<利用する試料>

当院で診断時に分離された真菌株を使用します。

5、研究期間

研究機関長の許可日～終了日未定

6、外部への試料・情報の提供

臨床情報は、ネット上の登録システムを使用し提供します。菌株は、郵送で提供致します。

7、研究実施体制

本研究はドイツのケルン大学を代表研究機関とする多施設共同研究です。詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 呼吸器内科 高園 貴弘 （提供責任者）

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7273 FAX 095（819）7285

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）